



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -

～クラブのテーマ～

こころゆたかなロータリアン

～本年度会長方針～

みんなでやろう ロータリー

ロータリーを
実践し



みんなに
豊かな人生を

2013-2014 R.I.会長メッセージ

第1121回例会 2014年6月11日 No.1090号

■ 会長時間



会長 森川 和彦

6月4日に梅雨に入りました。ちょうど出張で関東にいたのですが、結構降っておりまして、関東地方のかなりの地域で警報がでておりました。また、新幹線から見ますと、田に水が引かれておりまして、田植えの時期だなど思いました。いろいろ事情はあっても豊作を祈らずにはおられません。

さて、前回申し上げましたように、6月はロータリー親睦活動月間です。RIの親睦活動に参加するのはいささかハードルが高いと思いますが、我がクラブにもいくつか同好会があります。ゴルフ、野球、釣り、馳走会、ボーリングの5つです。この中では、ゴルフや野球が最も盛んかと思いますが、体力を要しますので、ご自分の体調に合わせて、お怪我の無いようにご活躍いただきたいと思います。広島東ロータリークラブですと、これらのほかに音楽の同好会がありまして、イーストギアーズ、イーストキングズ、イーストデンチャーズなどいくつかのバンドが活動されておられます。もう大分時間が立ってしまいましたが、ロータリー音楽祭というイベントがありました。声楽や、バンドの演奏等が沢山披露されていたのですが、昨今はまったく聞かなくなりました。残念に思っております。そのような他クラブの活動に刺激されたというわけでもないのですが、我がクラブにも音楽同好会があってもいいのではないかと考えておまして、設立の準備を始めました。関心のある方はご検討いただければと思います。ただ、お断りしておかなければなりません。当分、人様に聞いていただくようなレベルには達せそうにありませんので、誤解のなきようお願いいたします。

今回の例会(6月18日)

退任挨拶
幹事・理事・役員

次回の例会(6月25日)

最終夜間例会

出席報告

(吉田例会運営委員)

6月11日(水)出席者

会員総数	55名
出席会員	36名
欠席会員	19名
ご来賓	0名
ご来客	4名
ゲスト	0名

来客者紹介

(永岡親睦家族委員)

6月11日(水)出席者

広島北RC	1名
広島西RC	1名
広島西南RC	1名
広島安佐RC	1名

幹事報告(鈴木幹事)

■お知らせ

- 6月25日(水)の最終夜間例会は4階「ロイヤルホールⅠ」へ変更になりましたので、よろしくごお願い致します。
- 広島陵北ロータリークラブ細則改訂案を配布しておりますので、ご確認ください。

■BOX配布物

- 7月第2例会のご案内を配布しておりますので、ご確認ください。
- 新会員候補者通知文を配布しております。個人情報ですので取り扱いにご注意下さい。



.....SMILE BOX

森川和彦 会長、古谷幸一 副会長

早いもので退任挨拶の時期になりました。1年間、本当にありがとうございました。

当日計

2,000円

累計

973,000円

【例会】 毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】森川 和彦

【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F

【TEL】082-221-4894

【幹事】鈴木 大次郎

【ホームページ】<http://www.ryohoku-rc.jp/>

【FAX】082-221-4870

退任挨拶

森川 和彦 会長

失礼いたします。2013～2014年度会長として1年間クラブのお世話をさせていただきましたが、任期が満了いたしますので、退任のご挨拶をさせていただきます。

さて、昨年7月の就任にあたり、今年度の方針として、みんなでロータリー活動を実践すること、奉仕部門では、職業奉仕と社会奉仕に重点をおいて活動したいということを述べさせていただきました。

この方針のもとに、各委員会で活発な活動を行っていただきました。会員組織常任委員会においては、増強と研修に力を入れていただき、9名という会員増強を得ることができました。前年度、9名の増強を得ていましたので、今年度は大きな増加は難しいものと思っておりましたが、嬉しい誤算でございます。

クラブ運営常任委員会では、親睦家族委員会に大活躍をしていただきました。野球観戦家族会、久しぶりに子供さんにもご参加いただいたクリスマス家族会、お花見等、例年どおりの会合に加えて、何度も開催させていただいた新入会員歓迎例会も印象的でした。お花見で、大切な桜が切られているとあわてたのも、懐かしい思い出になりました。例会運営委員会では、勉強になる卓話を沢山企画していただきました。山崎選手や税務査察のお話、松井市長の講演等々枚挙にいとまがありません。最近では、川端君の卓話がとても印象的でした。と、いいますのも、職業柄、あまりいい夫婦仲というものにお目にかかることがないからです。

SAAでは、配席やプレゼント、またニコニコ箱の資金確保に尽力していただきました。特に伊藤君には、SAAという本来の職務に加えて、本年度社会奉仕の最大のイベント、陸上教室の開催に大変なご尽力をいただきました。感謝申し上げます。ありがとうございました。

広報常任委員会では、再入会して間もない沖田君に委員長をお願いして、陸上教室の広報、週報の作成とご活躍いただきました。これまで、3年間はロータリーの勉強をしてから役員をやっていた方がいいのではと考えていましたが、沖田君のご活躍を見ていて3年未満の会員でも、どんどん役員をやっていた方がいい思い出しました。ロータリーを勉強する機会にもなりますし、一石二鳥だと思います。どうぞ、新入会員のみなさまは、機会がありましたらどんどんチャレンジしていただければと思います。

奉仕プロジェクト委員会では、第一に、勉強すればするほどその重要性に目覚める職業奉仕について振り返ってみたいと思います。職業奉仕委員会には、まず例年どおり職場訪問例会と優良社員表彰を行っていただきました。その際には、船場君に大変お世話になりました。ありがとうございました。新しく機能を集約されたという支社の方へお邪魔させていただきましたが、近畿日本ツーリストの歴史やご活躍のお話は、会員のみなさんの経営にそのまま参考ができるような内容だったと思います。優良社員表彰では、ベテラン社員の方のお客様の説明で鍛えられた声がなんだか印象的でした。職業奉仕には、経営上の情報の交換という面もあります。職場訪問は、普通は見ることの出来ない会社の内部に入れていただいて、自分の会社の経営に役立つヒントをいただくことができるので、職業奉仕の実践になるのです。また、優良社員の表彰は、四つのテストを実践できる社員を増やして経営の戦力にするという意味があります。そして、それがまたお客様のためにもなるということです。このように四つのテストの重要性ははかりしれません。そこで、今年度は、冒頭に会長に音頭をとらせていただいて、毎例会ごとに四つのテストの唱和を行わせていただきました。職業奉仕は、単なる奉仕活動の1プロジェクトに過ぎないものではないと考えたからです。また、初めての試みとして、パストガバナー補佐とガバナー補佐/ミニにパネリストになっていただいて、職業奉仕についてのパネルディスカッションを行いました。大事であるにもかかわらず、ともすればなおざりにされやすい面がありますので、まずみなさんに興味をもっていただきたいという趣旨でございました。ロータリーがただの慈善団体になってしまわないためにも、職業奉仕の研究と実践の工夫を怠ってはならないものと考えています。



退任挨拶

社会奉仕につきましては、例年行っております蜚事業と桜事業に加えて広島市小学生体育連盟と共催でオリンピック選手を迎えて陸上教室を開催いたしました。約200名の児童、約300名の父兄にご参加いただき、当クラブの多くの会員にも参加していただきました。オリンピック選手と嬉しそうに当クラブの寄贈した練習器具を使用して練習する児童の姿や、児童に夢をもたせたい、小学生のときには本当に陸上を楽しんで欲しいとの選手のコメントを聞き、開催の意義を確認できたと思います。また、社会奉仕委員会の委員だけでなく、多くの会員が参加してくださったことにより、みんなでやろうという目標に一歩近づけたのではないかと考えています。参加された会員には、大きなロータリーマークをつけたフィールドコートを着用していただきましたし、新聞社も取材に来てくれましたので、ロータリーの広報にも寄与できたのではないのでしょうか。

国際青少年奉仕の面では、姉妹クラブの台北松山ロータリークラブから呼びかけのあった、心にハンディキャップのある人達のための施設に対する支援を実施することとし、20万円を寄贈して実行いたしました。これはグローバル補助金を使用して行われたものです。

ロータリー財団につきましては、個人的には大変勉強になった年でした。長年の疑問に回答ができたような気がしております。以前にも申し上げましたが、ロータリー財団は最も信頼のおける慈善活動団体ですので、財団に対する寄付は国際奉仕の実践そのものです。ですから、あまり財団の補助金に期待するのはどうかと思いました。むしろ、国際奉仕事業の実践のつもりで、クラブ独自の奉仕活動の資金とのバランスを考えて寄付を行うのがいいのかなと感じています。

長期計画特別委員会では、パスト会長にお集まりいただいて、大変有益な議論ができたと思います。新入会員とベテランとの交流を促進するという意味で、例会の配席を決めようというのもこの委員会の議論で出てきたものです。

会計の井林君には、大変お世話になりました。会計自体には私もそんなに明るくないものですから、いろいろご指導いただきました。親睦特別会計の廃止、クラブ基金特別会計のルール作り等は、井林君の貴重なご示唆によるものです。若干なりとも会計の交通整理ができたのではないかと考えています。

監査の安土君にもお世話になりました。なにもないはずですので、よろしく願いいたします。

最後に執行部である副会長の古谷君、副幹事の森中君、山本君に感謝申し上げます。古谷副会長は、安心して背中を任せられるという感じで、やりやすい1年間になりました。森中君と山本君には、全般にわたって執行部を支えていただきました。特に森中君には、仕事の関係でかえって迷惑をかけるからと強く辞退されたのですが、ロータリーの友情をたてに口説き落としました。無理をしていただいたようで、みなさんにも名司会を堪能していただけたのではないかと考えています。ありがとうございました。

最後の最後に鈴木幹事さん。これしか言いようがないですが、ありがとうございました。会長というのは、意外と言ってはなんですが、結構忙しくて、特に例会等の会議中は身動きがとれないものだとことを改めて感じました。見えないところで本当にお世話になりました。重ねてお礼を申し上げます。

1年間、つたない会長ではございましたが、会員みなさまのご協力とご支援により、ようやく港にたどりつけそうです。次年度の渡部会長も強力なスタッフをそろえて満を持しておられます。最近の渡部エレクトは、本当に気合いがはいっておられますので、次年度、当クラブがますます発展するように、ご活躍をお願いして、退任の挨拶といたします。ありがとうございました。

退任挨拶

古谷 幸一 副会長

皆様、今日は。

今年度、森川会長より副会長を仰せつかりました古谷幸一です。

思い起こしますと一昨年の10月に森川会長予定者よりお声を掛けて頂きました。会長予定者におかれましては其れなりの覚悟をされてのご決断と拝察し、快諾させて頂きました。



入会から20数年が過ぎていましたので其れなりの気持ちは持っていましたがこちらから何々がやりたいと申し出る訳も有りませんし、そこ迄、凶々しくも有りません。入会以来、積極的にロータリー活動に取り組むことも無く淡々と其れなりに過ごして参りました。一度、副幹事をさせて頂きました事は楽しい記憶として残っています。

今回お受け致しました副会長は特別な仕事は無く、色々な会合や会議の終わりの締めの挨拶が主な仕事と理解していました。其の為には会合や会議を冒頭よりよく観察する事に集中していましたが満点とは申し上げ難いのですが、まあ其れなりに出来たと思っています。先週は今年度最後の理事会を無事に終了する事が出来、理事会メンバー一同ホッと一安心しています。

残すは残り二回の例会と成りましたが、最後は夜間例会ですから実質次回のみと成りました。最後迄無事に過したいと思っています。多分、何事も起こる事は有りませんので此のまま終了と思います。

最後に会員皆様のご協力とご支援に心から感謝申し上げお礼のご挨拶と為させて頂きます。お世話になりました。有難うございました。